

## << 大学図書館の目的、目標、方針について >>

関西学院大学図書館は、大学図書館規程に定めた「目的」に基づき「目標」を策定し、目標達成に向けた「方針」の下、各種の取組みをおこなっています。また定期的に自己点検・評価することで、目標、方針等を見直しながら、進捗管理をおこなっています。

関西学院大学図書館の「目的」、「目標」、「方針」は以下の通り。

---

### 【大学図書館の目的】

図書館は、教育・研究、学習に必要な図書・資料及びその他学術情報を収集、整理、保管、提供するとともに、利用環境の整備、利用ガイダンス等の諸活動を行い、利用者に資することを目的とする。

(大学図書館規程第3条より)

### 【大学図書館の目標】

#### 1. 機能的な図書館に向けて、施設・設備を拡充する

大学図書館の施設・設備は、建設当時のままであり、この間に学修スタイルに変化があったにもかかわらず、十分に対応できていない。大学図書館の施設・設備について、利用者ニーズに見合った変更をおこない、便利で使いやすい、居心地の良い図書館へと変革を遂げる。

#### 2. 学術情報の収集・発信機能を充実させ、利用者サービスの向上に向けて、利用環境を整備する

限られた予算内で有用な学術情報を提供するために、大学図書館の持つ収集機能を整備し、同時に収集した学術情報の効率的な利活用に向けて、提供方法についても整備をおこなう。さらに利用者サービスについて見直しをおこない、利用者ニーズに見合った利用環境を提供する。これらにより、大学図書館の持つ研究・学修支援機能を強化する。

### 【大学図書館の方針】

利用者ニーズを的確に把握した上で、目標を検証し、必要に応じて修正をおこないながら、各課・分室の担当する業務の枠を超え、全館体制で目標の達成に臨む。